

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年10月9日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「あなたの御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯。」

詩編 119編105節

3、きよいあさあけて（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 出エジプト16章1節～5節

イスラエルの人々の共同体全体はエリムを出発し、エリムとシナイとの間にあるシンの荒れ野に向かった。それはエジプトの国を出た年の第二の月の十五日であった。荒れ野に入ると、イスラエルの人々の共同体全体はモーセとアロンに向かって不平を述べ立てた。イスラエルの人々は彼らに言った。

「我々はエジプトの国で、主の手にかかって、死んだ方がましだった。あのときは肉のたくさん入った鍋の前に座り、パンを腹いっぱい食べられたのに。あなたたちは我々をこの荒れ野に連れ出し、この全会衆を飢え死にさせようとしている。」

主はモーセに言われた。

「見よ、わたしはあなたたちのために、天からパンを降らせる。民は出て行って、毎日必要な分だけ集める。わたしは、彼らがわたしの指示どおりにするかどうかを試す。ただし、六日目に家に持ち帰ったものを整えれば、毎日集める分の二倍になっている。」

おはなしとおいのり 「天からのパンによって生きる」 門脇献一校長

皆さん、おはようございます。

先週は、モーセさんに率いられたイスラエルの人々がエジプトから脱出し、神様が海を二つに分けてくださることで、まさに追いつこうとして迫ってきたエジプトの軍隊から救ってくださったという出来事を学びました。これでようやくエジプトの手から逃れることができました。

これから、約束された土地に向かっての旅が始まりました。それは荒れ野を進んでいく旅でした。荒れ野は草も木もほとんど生えていない石がゴロゴロと転がっているような大変厳しい土地です。そのうちイスラエルの人々はお腹をすかせて、モーセさんに文句を言い始めました。とうとう、「エジプトにいた時にはお腹いっぱい食べられたのに」と奴隷だった時をなつかしがる始末でした。エジプトの軍隊に追われた絶体絶命のピンチから救われた時にはあんなに神様に感謝したのに、それを忘れたのでしょうか。

でも、イスラエルの人々を救われた神様は、このような有様のイスラエルの人々に天からのパンを降らせてくださいました。それは朝に霜のように地面を白く覆うマナという食べ物でした。毎朝、イスラエルの人々は、このマナをその日一日に必要な量を集めて、食事としました。ただ六日目にはいつもの2倍の量を集めて七日目の食事としました。この集め方は、神様がイスラエルの人々にモーセさんの口を通

して命じられたことでした。イスラエルの人々は、40年もの間荒れ野の旅を続けるのですが、その間神様は毎朝マナを降らせて、ずっとイスラエルの人々を養って下さいました。

マナはイスラエルの人々が生きていくために必要な食べ物でした。でも、それだけではありません。神様はマナを通して、神様のみ言葉を聞いてそれに従うようにともイスラエルの人々に教えておられるのです。

この時の体験を振り返り、モーセさんは次のように語っております。

「主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きることがあなたに知らせるためであった。」（申命記 8 章 3 節）このマナの出来事ののち、神様はイスラエルの人々に十戒を与え、神様に従う道を示して下さいます。これは来週のお話です。

さて、このマナの出来事は、今の私たちにとって、どのような意味があるのでしょうか。マナは「天からのパン」と呼ばれていますが、私たちの救い主であるイエス様はご自分のことを「わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。」（ヨハネの福音書 6 章 51 節）とされています。このパンとはイエス様ご自身です。それを食べるとは、イエス様がして下さったことを信じ、イエス様に自分が救われていることを日々確信することです。そのために、私たちに毎日与えられるマナとはイエス様のみ言葉です。イスラエルの人々が一日一日マナをいただいたように、私たちはイエス様のみ言葉を日ごとにいただきましょう。そしてそのみ言葉をおぼえてお祈りをしましょう。そのような神様の民として歩み続けましょう。

おいのり

天のお父様、今日のみ言葉を与えてくださりありがとうございます。今日は神様がマナを降らせてイスラエルの人々を養って下さったことを学びました。私たちにとってのマナは、イエス様のみ言葉ですので、日々私たちがイエス様のみ言葉をいただき、み言葉に養われつつ歩むことができますように、私たちを助け、お導き下さい。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

100、両手いっぱいのお愛（こどもさんびかをお用ください）